

1. 自己紹介

- ・東京→沖縄→東京(新潟)→大分(2009年~)
- ・農業→暮らし→RMO→「やる気学」
- ・ゼミ→「こみさぽ」→コミュニティ?

2. 3つのコンセプト

- **を支える !**
→マネージャー>リーダー、「コミ力とコマレカ」
- 「**三者**」の役割と連携
→事務局・伴走支援者・市町村担当課
- コミュニケーション
→質疑応答、支援者紹介、相談、交流、グラレコ

3. プログラム

- ・農村RMOの性格と広がり
- ・農村RMOを支える「三者」
- ・中間支援者紹介
- ・「三事例」の「三者_(二者)」
- ・お悩み相談・交流

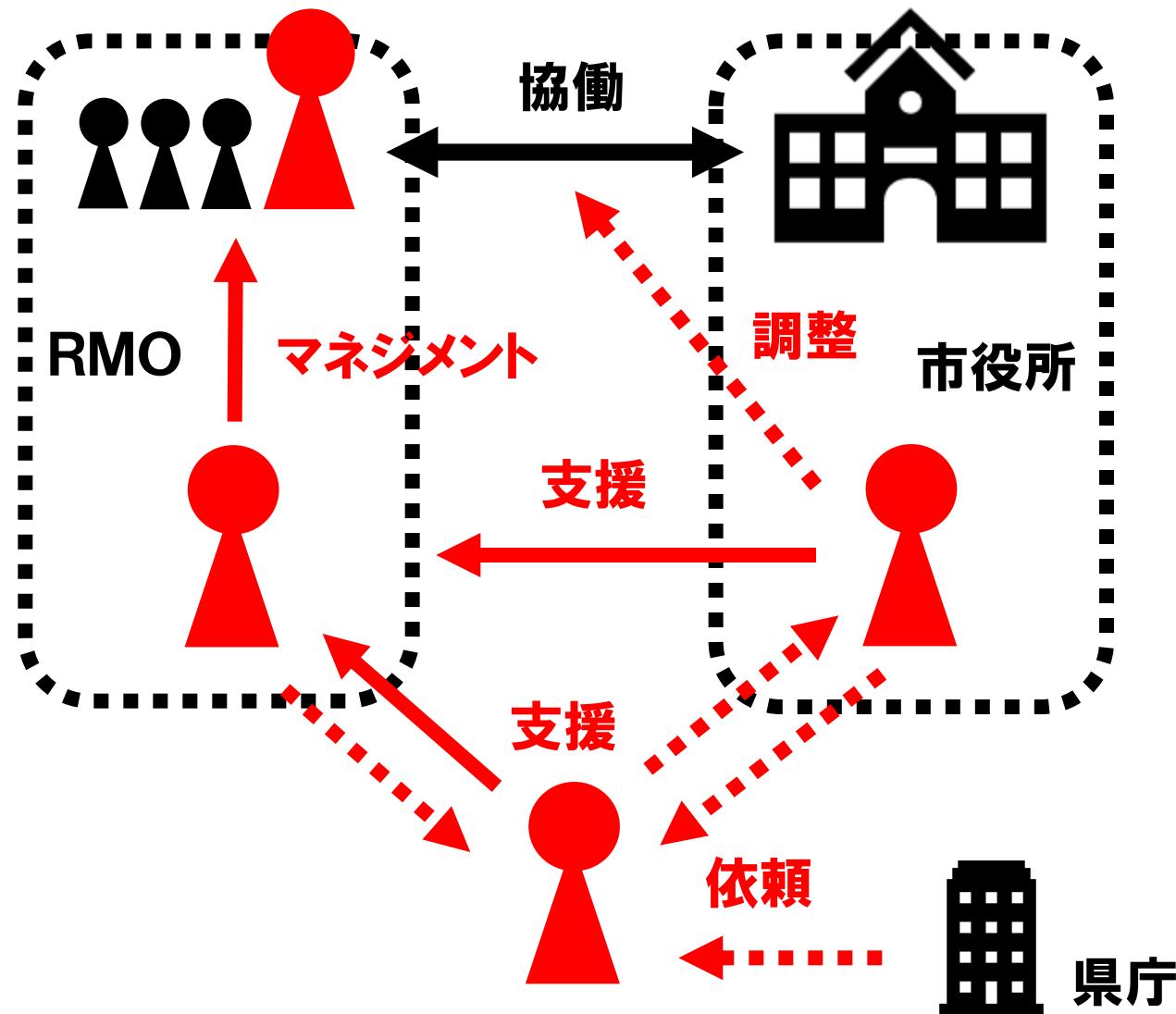
4. 政策研報告の聞き方

- ・農村RMOの広がりは？
- ・組織の性格は？（農村化？↔RMO化？）
- ・事業で地域はどう変わった？
- ・事業の本当の目的は？
- ・注意点（事業実施地域<農村RMO<RMO）

5. 政策研報告の感想

- ・86/443/8,193の評価
- ・なぜ既存RMOが過半か？
- ・地域の何が変わった？
- ・「むらづくり4.0」(_____ ←ヒト←ソフト←ハード)
- ・何が必要か？

6. RMOを支える四者



7. 田中報告の聞き方

- 「誰が」挑戦するのか？
- 「なぜ」挑戦するのか？
- 田中さんはPかMか？
- 協議会の代表性と実行性

8. 黒田報告の聞き方

- 黒田さんと酒谷
- 「M」としての役割
- 事業のかけ算
- 「P」と「S」の区別

9. 山下報告の聞き方

- ・支所・出張所と協議会
- ・支部・農村RMO・若者団体
- ・庁内関係課との関係
- ・「地域PM」の役割と試行錯誤

10. PDのテーマと進め方

- 45分(≒15分×3人、1~2分×7~10回)
- 登壇者間、小道具(キーワード)
- ●●さんに質問！
- 私の強みと弱み
- 5年後の「M」

11. 質問受け付け

- ・**対面参加者：**
→午後ペアワーク後受付
- ・**オンライン参加者：**
→12:45までにチャットに記入
- ・「M(組織運営)」優先
↔「A(活動内容)」は交流会で

12. 午後(の前半)のプログラム

- ・グラレコで振り返り(10分)
- ・質疑応答・意見交換(45分)
 - 質問共有(10分)
 - 登壇者回答(25分)
 - 追加質疑応答(10分)
- ・中間支援者コメント・PR(30分)
 - 組織・事業・活動紹介、感想、助言、提案…
 - 5分／人、相談・質問は交流会で

13. 第一部まとめ

-
-
-
-

14. 第2部のプログラム

- ・**分科会(意見交換会、70分)**
 - 三地域×三者(二者)、多面的に理解
 - オフラインの質疑応答
- ・**中間支援者への相談会(40分)**
 - 支援者ごとのブースで自由に個別相談
 - 相談内容は事前に整理
- ・**交流会・ポスターセッション(65分)**
 - 名刺交換、事例紹介